

# ボアアップキット 175cc（鍛造ハイコンピストン / カム付）取扱説明書

製品番号 01-05-0159

適応車種 CRF150F('05モデルまで)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## 使用燃料についてのご注意

当製品は、ノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前にフェューエルタンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

## スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず、DPR9EA-9 (NGK) 相当以上の冷え型に交換して下さい。その後スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品の取り付けにはエンジンの脱着作業が必要です。上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。

◎取り付け際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

◎必ず慣らし運転を行って下さい。

◎当製品を取り付けると出カアップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には不向きです。

◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

## ～特徴～

○ノーマルシリンダーヘッドを使用したシリンダーとピストンのボアアップキット。

○67mm 鍛造ピストンにより、排気量を 156.8cc → 174.5cc に、オリジナルピストントップ形状により圧縮比を 12.0:1 にアップさせます。

○MIKUNI VM26 キャブレターキット（弊社品番：03-05-333）により、更なるパワーアップが望めます。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）

■ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ピストン φ 67	1	13101-KEH-T01
2	ピストンリングセット	1	00-01-0150
3	ピストンピン φ 15x50	1	00-01-0151
4	ピストンピンサークリップ φ 15	2	00-01-0201 (6ヶ入り)
5	カムシャフト	1	01-08-0381
6	シリンダー	1	12100-KPT-T00
7	シリンダーヘッドガスケット	1	00-01-0139
8	シリンダーガスケット	1	00-01-0246
9	カムスプロケットカバーガスケット	1	00-00-0484
10	テンショナーリフターガスケット	1	00-01-0179

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ願ひ致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

◇取り付けにはエンジンの脱着作業をするため、レーシングスタンド等を用いて水平で安全な場所で車両を確実に支える。これからの作業は必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行う事。

●エンジン、各部品の取り外し

◇純正サービスマニュアルを参照し、以下の部品、接続等を取り外す。

- ・シート / L、R サイドカバー
- ・フューエルタンク / フューエルホース
- ・エンジンに繋がる配線
- ・スパークプラグキャップ
- ・クラッチケーブル
- ・クランクケースブリーザーチューブ
- ・ドライブスプロケット
- ・エキゾーストパイプ
- ・マニホールド / キャブレター

◇エンジンをマウントしているボルト / ナットを取り外し、エンジンをフレームから取り外す。フレーム等に傷をつけないように注意。

●スパークプラグの取り外し

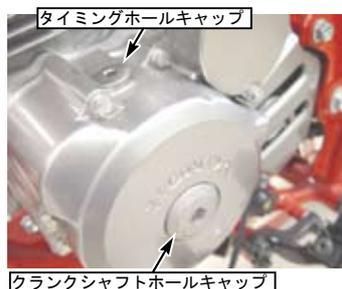
◇スパークプラグを取り外す。

●カムスプロケットの取り外し

◇吸・排気両側のタペットホールキャップ / Oリング、カムスプロケットカバー / Oリングを取り外す。シリンダーヘッドやカムスプロケットカバーにガスケットが残った場合、スクレーパー等できれいにはがす。



◇タイミングホールキャップ、クランクシャフトホールキャップを取り外す。

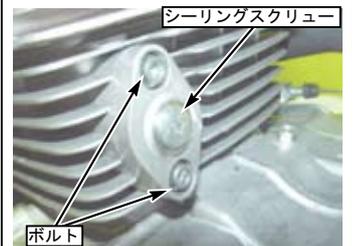


◇フライホイールを反時計方向に回し、圧縮上死点の状態にする。（フライホイールの“T”マークをクランクケースカバーの合わせマークに合わせ、ロッカーアームにガタがある状態）



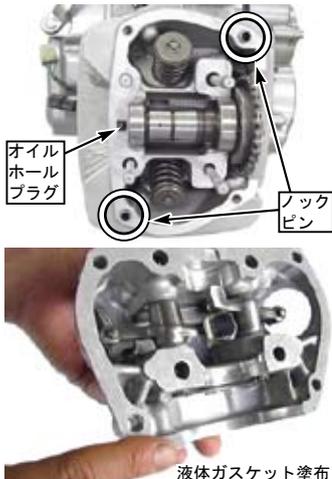
◇フライホイールを保持し、カムスプロケットボルトを緩める。  
◇カムスプロケットボルトを取り外してカムスプロケットをカムシャフトから外し、カムチェーンからカムスプロケットを取り外す。

◇シーリングスクリュー / Oリングを外し、カムチェーンテンショナーのリフターをロックさせる（ストッパーを時計方向に一杯まで回すとリフターはロックする）。ボルト / ワッシャを取り外してカムチェーンテンショナーをシリンダーから取り外す。





◇カムシャフト、ノックピン2個、オイルホールプラグを取り付け、シリンダーヘッドカバーの取り付け面に液体ガスケットを塗り、取り付ける。



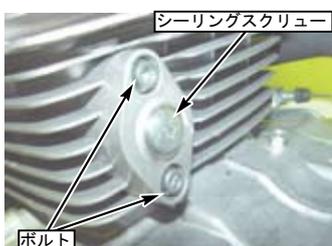
液体ガスケット塗布

◇ワッシャ4個/ナット4個、ボルト5本を仮止めする。ナットを先に対角に数回に分けて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
シリンダーヘッドナット  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)  
シリンダーヘッドボルト  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

◇カムチェーンテンショナーのリフタがロックしている事を確認する。カムチェーンテンショナーに⑩付属のガスケットを取り付け、シリンダーにボルト/ワッシャ2本で取り付ける。カムチェーンテンショナーのストッパーを反時計方向に回し、ロックを解除する。カムチェーンテンショナーのシーリングスクリュー/0リングを取り付ける。

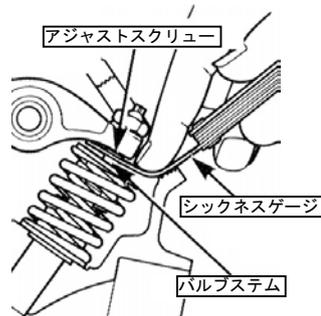
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
テンショナー取り付けボルト  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)  
シーリングスクリュー  
トルク：4N・m (0.4kgf・m)



◇クランクシャフトを時計方向に回し、再度フライホイールの“T”マークをクランクケースカバーの合わせマークに合せた時に、カムプロケットの“1”マークがシリンダーヘッドの合わせ面に合うか確認する。

◇圧縮上死点であることを確認する。アジャストスクリューとバルブシステム間にシックネスゲージを差し込み、バルブクリアランスを測定する。

バルブクリアランス  
：IN、EX 共に 0.10mm



◇クリアランスの調整が必要な場合は、ナットを緩めアジャストスクリューを締め込む。アジャストスクリューを固定し、ナットを締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ナット  
トルク：14N・m (1.4kgf・m)



◇タイミングホールキャップ、クランクシャフトホールキャップを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
タイミングホールキャップ  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)  
クランクシャフトホールキャップ  
トルク：8N・m (0.8kgf・m)

◇カムプロケットカバーに0リングと⑨付属のガスケットを取り付け、シリンダーヘッドにボルト2本で取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト  
トルク：9N・m (0.9kgf・m)

◇吸・排気両側のタペットホールキャップ/0リングをシリンダーヘッドに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
タペットホールキャップ/0リング  
トルク：15N・m (1.5kgf・m)

### ●スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグを用意し、取り付ける。

※ DPR9EA-9 (NGK) 相当以上の焼け型に交換する事。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
スパークプラグ  
トルク：18N・m (1.8kgf・m)

### ●エンジン、各 부품の取り付け

◇純正サービスマニュアルを参照し、フレーム等に傷をつけないように注意してエンジンをフレームにセットし、各マウントボルト/ナットを仮止めする。ドライブチェーンを取り付けたドライブプロケットを、カウンタシャフトに差し込む。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込む。

◇ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたまま、仮止めした各マウントボルト/ナットを締め付ける。ドライブプロケットを取り付ける。

◇純正サービスマニュアルを参照し、取り外した部品の取り付け、接続を行う。

- ・エキゾーストパイプ
- ・マニホールド/キャブレター
- ・エンジンに繋がる配線
- ・スパークプラグキャップ
- ・クラッチケーブル
- ・クランクケースブリーザーチューブ
- ・シート/L、Rサイドカバー
- ・フューエルタンク/フューエルホース

### ●エンジン始動

#### 1. 使用燃料について

◇燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用する事。  
◇フューエルタンクにレギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える事。

#### 2. 各部の点検

◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか確認する。  
◇エンジンオイルが規定量入っているか確認する。  
◇風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動する。エンジン内部にエンジンオイルがいきわたるまで数分間、アイドリングでしておく。

⚠警告：必ず換気の良い場所で行う事。

◇エンジンからの異音、各ガスケット部からのオイルもれ、エキゾーストパイプのジョイント部からの排気漏れ等がないか点検する。  
◇エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか再度点検する。

#### 3. 慣らし運転について

◇ピストンやシリンダー等を馴染ませるため、急激なアクセルワークをさけ、エンジン回転を落とした状態で100km程度の慣らし運転を必ず行う事。